



丸山 康夫 議員

# 戦略的、積極的な広報 宣伝活動の展開を

## 答 今までの認識を改め 積極的な広報展開を行う

**問** 福岡都市圏で唯一人口が減少している宇美町だが、その解消に向けて、子育て世代の若い人たちが宇美町に呼びこむことが大切だ。

**答** 現在、待機児童ゼロが実現できている。大きな成果であり、これを情報発信することで子育て世代の流入にもつながると思うが、なかなか宣伝活動を行っているか。

**答** 子育て支援課長 糟屋地区で宇美町と古賀市だけが待機児童ゼロだが、町内・町外に向けて広報宣伝活動は行っていない。

**問** 宇美町空き家バンクに関する協定書が締結され「広報うみ」と役場フェイスブックで一度ずつ紹介された。空き家をリノベーションして若い方に住んでいただくとありがたい。紙媒体を含めて効果

的な宣伝活動を展開すべきでは。

**答** 環境課長 フェイスブック等で宣伝した後は、ホームページを活用した周知が主なものとなっている。今後精査して、最善の効果を検証していきたい。

**問** 小中学校にエアコン設置が決まった。ビッグニュースだが、宣伝活動は行ったか。

**答** 学校教育課長 昨年8月臨時議会でエアコン設計業務委託料の承認を得た後に、町ホームページに掲載した。今後、SNSも含めて、広くお知らせできるように広報活動に取り組みたい。

**問** 待機児童ゼロ、小中学校にエアコン設置、空き家バンク媒介などの政策は、若い子育て世代を宇美町に呼びこむために、もっとコラ

ボした宣伝が必要だと思うが、現在の機構ではどこが行うのか。

**答** 総務課長 各課それぞれで実施し、政策調整監が各課の橋渡しを行っている。

**問** 「広報うみ」の予算が倍増しているが、全ページカラー印刷を行うなど、もっと紙面を充実できないか。また、編集会議はどのように行っているのか。

**答** 課長 全ページカラー印刷は行わず、これまでどおり、表紙と裏表紙以外は二色刷りでいく。予算の増額は業者に編集させて職員の負担を減らすため。

広報の編集会議は毎月行わずに年に三回だけ行っている。

**問** 「広報うみ」の紙面を有効に使うため、情報量が多いときはQR

コードを使い、町ホームページとのリンクを行ってはどうか。

**答** 課長 QRコードは、今後情報管理係で検討する。

**問** 宇美町のブランド力アップに対する取組は。

**答** まちづくり課長

町内外の誰もが認める代表的資源である宇美八幡宮を中心に、安産、子ども、子育てをコンセプトにし、住民や地元業者とともに、親しみ感のあるイメージをつくっていきたい。



宇美町役場のフェイスブックにたくさんのアクセスをお待ちしています



平野 龍彦 議員

# 町制施行100周年を 少子化ストップ元年に

## 答 子育ての一元的な 支援に努める

**問** 現在の若者が結婚と子育てに夢と希望を持ち、喜びを肌で感じていると思うか。

**答** 子育て支援課長 昨年度の0〜14歳の町外からの転入は84人の増。待機児童解消等の施策が子育て世代に評価をされていると思われる。

**問** 太宰府市は6年前から結婚相談登録者の募集を継続している。独身の若者に恋活バンクへの登録を呼びかけ、出会いの場を設けては。

**答** 課長 単町よりも広域的設置が効果がある。当面は福岡県の出会い・結婚応援事業の周知と連携を図る。

**問** 志免町は10年前からスポ婚活を継続中。本町でも地域おこし協力隊員を募集し、恋活サポートセンターを立ち上げ、企業・団体主体によるお金をかけない出会いの場づくりを。

**答** 課長 県の婚活サ

ポート機能の活用・連携をしたい。

**問** 商工会・青年団・山の会等の活動に恋活の出会いの場を100周年事業として企画してみても。宇美八幡宮から井野山までの恋活めぐりを。

**答** 課長 受け手の団体の意向を踏まえて、今後調査・研究をする。

**問** 100周年事業推進事務局長 民間の力を借りながら、子育て支援課と協力をしていく。

**問** 改正児童福祉法により2015年4月から子ども・子育て支援の新制度がスタート。自治体は子育てに伴う家計の負担の軽減を図らねばならない。未来の子育て支援の方向性は。

**答** 子育て支援課長 令和2年度から令和7年度までの子育て第2期うみっ子プランの中で、各施策を具現化していく。

**問** 新保育制度では、すべての子どもを保育の対象としており、待機児童を出さないこととなっている。1年を通じて、隠れ待機児童を含めゼロにすべきでは。

**答** 課長 4月1日時点での待機児童は平成29年度は46名。30年度はゼロだが、隠れ待機児童は10名。今後は町立保育園の民営化等、施設の充実により解消をしていく。

**問** 大任町は、少子化対策として、平成31年4月1日から0〜5歳児までの幼児教育・保育料の完全無償化を実施する。本町でも知恵を絞りださなければい

けないのでは。

**答** 課長 さまざまな子育て施策の調査研究を行う。

**問** 町制施行100周年の年が、少子化ストップ元年と多子化への始まりとなるために、若者が結婚と子育てに夢と希望を持てる社会が必要。100周年とリンクをした恋活イベントを。

**答** 町長 100周年のキャッチフレーズにあるうみ出そう次の百年を元気で活力ある町として実現していくためにも、待機児童ゼロ等、就学前から就学後の子育ての一元的支援ができる体制づくりに努める。



今、子育て真っ最中です